

平成23年1月21日

於 教育委員会室

平成23年1月

大和市教育委員会定例会

大和市教育委員会

平成23年1月大和市教育委員会定例会

○平成23年1月21日（金曜日）

○出席委員（5名）

1番	委員長職務代理者	森山寛
2番	委員	石川創一
3番	教育長	滝澤正
4番	委員	篠田優里
5番	委員長	青蔭文雄

○事務局出席者

教育部長	井上純一	こども部長	吉間一治
文化スポーツ部長	酒井克彦		
学校教育課長	大澤一郎	保健給食課長	浜田和博
指導室長	西山誠一郎	教育研究所長	名取正
青少年相談室長	松岡路秀	こども・青少年課長	阿部通雄
文化振興課長	北島滋穂	生涯学習センター館長	西山正徳
図書館長	井上克彦	スポーツ課長	林武人

○書記

教育総務課 政策調整 担当係長	飛田幸人	教育総務課 政策調整 担当主任	坂本勝敏
-----------------------	------	-----------------------	------

○日程

- 1 開 会
- 2 会議時間の決定
- 3 前会会議録の承認
- 4 会議録署名委員の決定
- 5 教育長の報告
- 6 議 事
日程第 1（議案第1号） 教育財産の取得の申し出について
日程第 2（議案第2号） 平成22年度大和市教育費補正予算案について
- 7 その他
- 8 閉 会

開会 午前10時00分

○青 蔭
委員長

ただいまから教育委員会1月定例会を開会いたします。

会議時間は、正午までといたします。

前会の会議録は、署名委員の署名をもって承認されました。

今会の署名委員は、4番篠田委員、1番森山委員にお願いします。

続きまして、教育長報告をお願いします。

○滝 澤
教育長

資料から、1点報告をいたします。残りについては、説明を割愛させていたきたいと思えます。

1番、草柳小学校の「おかえりなさい運動の会」のお礼の会ということで、今、市内では、子ども達の安全・安心という視点に立った運動を、地域の方が熱心に展開されておりますが、その「おかえりなさい運動の会」から、出席依頼があり、参加いたしました。

一つ感じたことは、この会のボランティアさんは、年々増えており、ベテランの方々も多くなってきました。昨年、訪問したときは40人に満たなかったと思いますが、今年は50人を超えており、会場が所狭しという状況の中で反省会が行われました。

その中で、子どもとボランティアさんの関係が大分緊密になっているということで、「よく挨拶ができる」と一同に話されていました。

それから、冬休みの前日は12月24日でしたが、子ども達が学校から帰ってくるときに、ボランティアの方々は「よいお年をお迎えください」という言葉を口々に聞けたということで、これが爽やかだったという話をいただきました。

校長、教頭やPTA会長など、様々な方たちが参加し、反省会という形で会をなさっていらっしゃいました。

「おかえりなさい運動」は、冬は寒いけれども、引き続き、頑張っていくという、決意表明もございました。

教育長報告は以上です。

○青 蔭
委員長

ただいま教育長の報告がございました。

質疑がございましたら、お願いします。

○森 山 今の教育長のお話とは別ですが、行事の中で成人式に出席させていただきまして、成人式のあり様というのは、もう少し工夫があってもいいのかと感じました。

お笑いの芸人さんや、司会の方が出てきて、いろいろなイベントをやっておりましたが、成人式を迎える若い人達、参加された人達に、うまくマッチしていたとは、やや思いにくい感じがしました。代表の方達が中心になって企画をするのでしょうけれども、イベント会社に少し振り回されたかというような感じもしますので、来年のことを考えるときには、少し反省材料になるのではないかと、私には感じられました。

○吉 間 私も、2回目の成人式の担当部になるわけですがけれども、実行委員会
子ども 形式そのものは、団体等から評価をいただいておりますが、私も反省す
部 長 るべき点が多々あったかと考えております。

今後、実行委員会、それからイベント会社もそうですが、よく検討しながら考えていきたいと思っています。

○青 蔭 皆様で知恵を絞って、よき成人式は一体何なのかということを考えさ
委員長 せられるような時でございます。

海老名市の例をとって申しわけございませんが、60歳の還暦を迎えたお父さんをお迎えするという事で、午前と午後に分かれ行われました。マスコミでも大変扱われ、お父さんとお母さんが出られているのですけれども、とても嬉しかったと。自分の子どもの晴れ姿と自分たちのことだという、何かそういうふうに、ただ祝うということももちろんですけれども、何か、もう一度、我々の手で築き上げるものはないかなという感じがいたしました。検討いたしましょう。

○吉 間 一緒にいい知恵を出していただきますよう、よろしく申し上げます。

子ども
部 長

○青 蔭 ほかに何かございませんでしょうか。

委員長

(「ありません」の声)

ほかにないようでしたら、教育長の報告に対する質疑を終了いたします。

◎議 事

- 青 蔭
委員長 それでは、議事に入ります。
 日程第1 議案1号「教育財産の取得の申し出について」を議題といた
 たします。
 細部説明を求めます。井上教育部長、お願いします。
- 井 上
教育部長 平成22年3月から進めております草柳小学校、深見小学校の体育館
 及び大和小学校、緑野小学校、つきみ野中学校体育館特別教室棟建替工
 事の完了見込みが立ちました。この工事案件は、1,000万以上の教
 育財産であり、この取得につきましては、大和市教育委員会教育長に対
 する事務の委任等に関する規則第2条第1項第10号の規定に基づき、
 ご審議をお願いするものです。
 なお、供用開始につきましては、草柳小、深見小体育館につきましては
 1月31日、大和小、緑野小、つきみ野中体育館特別教室棟につきましては
 2月28日を予定と考えています。以上です。
- 青 蔭
委員長 細部説明が終わりました。質疑、ご意見等ございましたらお願いしま
 す。いずれも行事の前に全部建物が完成するというので、良かったと
 思っております。
 （「特にありません」の声）
- 青 蔭
委員長 特にないようので、質疑を終決いたします。
 これより議案第1号について採決をいたします。本件の原案についま
 してご異議はございませんか。
 （「異議なし」の声）
- 青 蔭
委員長 異議なしということですので、議案第1号は可決しました。
 続きまして、日程第2 議案第2号「平成22年度大和市教育費補正
 予算案について」を議題といたします。
 細部説明を求めます。まず、井上教育部長、お願いします。
- 井 上
教育部長 今回の補正予算につきましては、教育部及び文化スポーツ部が関連し
 ておりますが、まず教育部所管分の歳出予算（案）について説明をさせ
 ていただきます。

10款教育費、1項教育総務費、4目教育指導費、この中の9番特別支援教育推進事業です。

国の緊急総合経済対策としての住民生活に光をそそぐ交付金の交付が予定されており、この交付金を活用して、今回、特別支援教育ヘルパー5名を増員するもので、291万6,000円の増額補正です。今回、3月補正ということで、全額を繰り越し、実質的には23年度から生かすという予算です。

続きまして、6番の学校図書館施設整備事業です。

こちらにつきましては、今年度、小学校16校の図書館が、リニューアルを終了することになり、23年度に向けて残りの3校、緑野小、南林間小、文ヶ岡小の準備をしているところでございましたが、これらの図書室の改修を国の緊急総合経済対策としての住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、実施するもので、1,110万円の増額補正です。

この事業も、特別支援教育推進事業と同様に、補正をしますが実際の工事は、平成23年度に実施するものです。

教育部の歳出につきましては以上です。

○青 蔭
委員長

続きまして、北島文化振興課長、お願いいたします。

○北 島
文化振興
課 長

文化スポーツ部所管の補正予算でございます。スポーツセンター施設大規模改修事業で、内容は、大和スポーツセンター競技場のメインスタンド前のアウトフィールドの部分の改修です。かなり老朽化をしております、全天候舗装の部分がはがれて、危険な状態になっています。

この整備を行うに当たりまして、教育部の補正予算と同様に、国の緊急総合経済対策の一環として地域活性化交付金、きめ細かな交付金を活用することといたしました。この活用にあたって、これも教育部予算と同じですが、22年度予算に計上しなければならないという条件があるため、ここで増額補正をするものです。

金額としては、工事費が3,937万5,000円で、このうち、2,400万円が国の補助金となります。工事期間は、シーズン中はできませんのでシーズンオフ、年が明けまして24年の1月から3月を予

定しております。工事は来年度になりますので、これも全額、翌年度予算に繰り越すということにしております。

スポーツセンターに関する説明は以上でございます。

○井 上 続きまして、歳入に移らせていただきます。

教育部長

国庫補助金は、きめ細かな交付金として、03のスポーツセンター施設大規模改修事業補助金、今回、2,400万円を計上しております。

次に、住民生活に光をそそぐ交付金として、01、特別支援教育推進事業補助金として250万円、次に、02、学校図書館施設整備事業補助金として857万9,000円。いずれの事業につきましても、国の緊急総合経済対策に伴う平成22年度における地域活性化交付金で、先ほど歳出の部分で説明をいたしました。各事業にかかる経費に対する国庫補助金を今回、増額するものです。以上です。

○青 蔭
委員長

ただいま細部説明がございました。質疑、意見等がございましたらよろしくお願いいいたします。

○森 山
委 員

スポーツセンターの改修事業は、今年の予算はゼロでしたか。何か、一部をやるような予算を組んだような記憶があります。

○林
スポーツ
課 長

森山委員がおっしゃる内容につきましては、恐らく平成23年度の当初予算の見積もり状況を、協議会の中で、こういう工事を行いますというお話をさせていただいたと思います。

○森 山
委 員

23年度の当初予算ですか。

○林
スポーツ
課 長

はい。その説明の時点では、全て市費で行う予定でご説明しましたが、今回、こういう国の補助金がありますので、その補助金を活用するというので、今回、補正をさせていただき、工事そのものは23年度の当初予算の予定と同じ24年1月以降ということで考えております。

○森 山
委 員

わかりました。私の記憶違いだと思います。

○青 蔭
委員長

先日、駅伝大会に参加させていただきましたが、実行委員長の方が、老朽化もありますが、トイレに行くときにスパイクを履いた選手がここを斜めに横断するとおっしゃっていました。

普通の靴と違ってスパイクで歩くと傷みますので、トイレに行くまで

の道を別仕立てのカラーを変えるとか、材料を変えるとかとして、トイレに行くラインをお決めいただいたほうがよろしいかと思えます。

斜め横断して非常に困っていますということでしたので、柵を設けるということは無理かもしれませんが、何か導入部をつくった方がいいのではないかと思えます。

せっかく、予算がついて直したとしても、斜め横断をされると傷むと思えますので、予算内でできることをしてもらいたいと思えます。

○林
スポーツ
課長
現在、グリーンの部分でございますので、グリーンでやるのか、例えばそういう一部を変えて可能かどうかといった検討を、今の施設が2種公認の競技場に入っておりますので、そういうことを踏まえて研究してまいりたいと思っております。

○青 蔭
委員長
よろしくお願ひいたします。
ほかにございますか。石川委員。

○石 川
委 員
学校図書館の関係で、改修工事が必要なのは今回、緑野小と南林間小と、文ヶ岡小ということですが、施設はそのままで備品だけを変えるといふ形なのでしょうか。

○西 山
指導室長
文ヶ岡小学校の図書室は2教室分あるのですが、現在、特別支援学級の方で1教室分、パーテーションをつけて使ってしまっています。そのため、スペース的に非常に難しい状況にあります。それから、今後、どういふふうになるか、不明確な部分がございますので、まずは備品を揃えて、今後、そういう必要があれば、また、工事をすることにしております。プレハブの北大和小学校と大野原小学校もそうですが、工事をしないで、まず、備品で雰囲気づくりをしようとしております。

○石 川
委 員
そうすると、特別支援学級の教室が足りないということでしょうか。

○西 山
指導室長
文ヶ岡小学校は、全体的に余剰教室がない状況で、特別支援学級も児童数が当初より増えている、という事情から、特別支援学級で今、使っているということです。

○石 川
委 員
図書室を特別支援級の教室として転用しているというようなことで、理解してよろしいですか。

- 西山 指導室長 そのとおりです。
- 青蔭 委員長 石川委員、よろしいでしょうか。
- 石川 委員 結構です。
- 青蔭 委員長 ほかにございますか。
(「ありません」の声)
- 青蔭 委員長 ほかにないようでしたら質疑を終決いたします。
これより議案第2号について採決をします。本件の原案につきまして
ご異議はございませんでしょうか。
(「異議なし」の声)
- 青蔭 委員長 異議なしということですので、議案第2号は可決いたしました。

◎その他

- 青蔭 委員長 それでは、その他に入ります。
各課のご報告がございましたら、順次、ご報告ください。
まず、西山指導室長からお願いいたします。
- 西山 指導室長 行政文書非公開決定取消等請求に係る訴訟の経過報告ということで、
12月の定例会におきまして、本件について付議させていただき、公開
決定の方針をいただきました。その後の経過について、ご報告します。
12月24日に、教育委員会名で公開決定の通知書を発送いたしました。
そして、大川弁護士の事務所と連絡をとり、こちらの考えを確認い
ただいております。
同月28日、決定通知文書を受領したという旨が教育委員会に届き、
裁判所に決定通知書を提出する中で、訴状の取り下げ手続も完了したと
いうご報告も電話でいただきました。
そして、年が明けまして1月4日、訴状の取下書と送付書が届きまし
て、横浜地方裁判所へ受領書をファクスにて送信をいたしました。

翌5日、調査員の名簿があります行政文書を大川弁護士の事務所に発送しました。このような経過で、裁判は取り下げられたということでございます。

今後の取り扱いにつきまして、今年度の調査員氏名は請求があれば開示をするということとします。

来年度は、中学校の教科書採択となりますけれども、当然、採択中の公開は難しいですが、採択後は、採択検討委員の氏名と同じような扱いで、請求があれば応えていくというような方向で考えております。

○青 蔭
委員長

ありがとうございました。

それでは、名取研究所長、お願いいたします。

○名 取
教育研究
所 長

昨年の12月18日、土曜日に、生涯学習センターを会場に開催いたしました「子どもサイエンスフェスティバル＝冬のおもしろ科学館＝」について報告いたします。

この事業は、県立青少年センターとの共催で、子ども達に科学の楽しさを体感させ、科学技術への夢を育むという趣旨で、平成20年度から開催している冬の科学イベントであります。

当日の参加者数は493名の参加がありました。そして、親子で科学体験を楽しんでいる姿が見られました。昨年度は新型インフルエンザの流行もあり、来場者数が若干減りましたが、今年度は例年並みの来場者でにぎわいました。

開催内容ですが、大ホールにおいては、サイエンスコンサートなどのおもしろ実験ショーを4回、公演しました。

また、科学体験のブースでは、神奈川県科学体験活動推進協議会の加盟団体、それから、市内小中学校の教職員など、全11団体の出展協力により、カラー写真の現像体験や、ミニプラネタリウムなどの体験、そして、観察、実験、理科工作などの内容を行いました。今年度はブースの一角にノーベル賞コーナーを設けていただいた、そういった教員グループもありました。

運営面では出展会場を本館にも設定し、各ブースのスペースを広くとって会場の混雑緩和を図ったため、当日は大きな怪我やトラブルもな

く、無事に終了することができました。

来場者のアンケート結果からは、開催内容についてはほぼ満足をいただいております、このような催しに対しての期待感も感じられました。

来年度に向け、さらに運営や内容について工夫や検討をしてみたいと思います。 以上です。

○青 蔭
委員長

ありがとうございました。

今、ご報告がございましたら、何かご質問はございますでしょうか。

(「特にありません」の声)

○青 蔭
委員長

よろしいでしょうか。

ほかに事務局からは何かございませんか。

委員の方からほかに何かご意見はないでしょうか。

特にないようでしたら、2月の会議日程をお知らせいたします。2月定例会は2月9日、水曜日、午前9時ということでございます。

◎閉 会

○青 蔭
委員長

以上で本日の日程はすべて終了いたしました。

これにて教育委員会1月定例会を閉会いたします。

閉会 午前10時28分

上記会議の顛末を証記し、その相違ないことを証し署名する。

平成23年 1月21日

署名委員

署名委員

書 記

書 記